

行政報告の主な内容（7課15項目）

(1) 総務課	十勝岳噴火総合防災訓練について
	町有地(農業センター等用地)の処分について
	広域行政関係について
	自衛隊関係について
(2) 保健福祉課	食育推進計画について
	冬の生活支援事業について
(3) 町民生活課	町税等の収納対策について
	確定申告の受付について
(4) 産業振興課	雪まつりにについて
	地域セミナーについて
(5) 建設水道課	除排雪の状況について
(6) 町立病院	循環器科診療状況について
(7) 教育振興課	成人式について
	上富良野高校の現況について
(8) 総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成20年3月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第1回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る12月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告【総務班関係】)

はじめに、十勝岳噴火総合防災訓練についてであります。上富良野町、美瑛町の両町と北海道上川支庁を中心に、2月21日から22日の2日間の日程で、旭川地方气象台、陸上自衛隊、北海道警察、上川南部消防事務組合など多数の関係機関が参加して実施いたしました。

当町においては、12の防災関係機関の参加により、1日目は情報の収集と伝達訓練を主体に、2日目は避難、救助・救出、避難路確保、道路閉鎖などの各種実働訓練を展開いたしました。

避難訓練では、緊急危険区域の住民を対象に、8箇所の避難所を開設して、泥流を伴う十勝岳噴火が起きたという想定で、153世帯、209人の実績となりましたが、年々参加人員が減少傾向となっておりますので、その対応策を具体的に講じなければならぬと認識しております。

なお、昨年度から、避難所の運営に対して、各住民会単位の自主防災組織の参加をいただいております。本年度は16名の参加を得て定着化の方向にありますので、今後の自主防災活動の展開につながればと願っているところであります。

また、平成 13 年度から常時監視 5 火山を対象に実施されている北海道火山噴火総合防災訓練が、本年度は上川支庁の所管により、一般公開による応急復旧訓練として上富良野西小学校を会場にして実施され、西小学校児童・地域住民・防災関係者など多くの見学者を集めて盛会の内に開催されました。

（総務課行政報告【企画財政班関係】）

次に、農業センター用地等の処分についてであります。昨春、ふらの農業協同組合より、当該地の払い下げについて申し出があり、これまで協議を続けてきたところであります。

過日協議が整い、1月23日に仮契約を結び、3月3日には、農業委員会より農地法第3条に基づく農地の権利異動の許可を受けたことから、本定例町議会に、財産処分の議案を上程させていただいております。

（総務課行政報告【広域行政関係】）

次に、広域行政であります。昨年12月以降、精力的に委員会、幹事会、また部会やワーキンググループにおける検討と議論を重ね、さらに北海道との事前協議も重ねて、設立しようとする広域連合の組織や議会、委員会、負担など、その骨組みとなる富良野広域連合規約案をまとめた後、パブリックコメントを経て、本定例町議会に富良野広域連合の設置議案を上程する運びとなりました。

今後につきましては、スケジュールに沿いまして、5市町村議会において設置議案のご審議をいただき、原案可決となった場合は、5市町村議会の議決書・会議録の写しなど必要な書類を添えて、北海道知事へ設立の許可申請し、約1か月を経て許可を受け、富良野広域連合を設立することとなります。設立後は、広域連合長の選出や広

域連合議会議員を構成市町村議会で選出してから広域連合議会を招集することとなります。

また、平成21年4月の業務開始に向けて、一部事務組合の解散やその財産処分に
関する手続きなどを進め、本年中に関係議案の提案を進めてまいる予定であります。

（総務課行政報告【基地調整関係】）

次に、自衛隊関係であります。昨年12月20日、防衛省において年末のあいさつ
と上富良野駐屯地の現状規模堅持の要請を行なっていました。

翌、12月21日は北海道自衛隊駐屯地等連絡協議会の要望運動が行われ、防衛省、
財務省に対し、「防衛大綱」「中期防衛力整備計画」の見直しによる部隊の統廃合など
地域における重要課題である北海道の防衛体制の確保に関する要望を行うとともに北
海道代議士会、関係国会議員に対しても同様の要望を行なっていました。

また、本年1月9日は旭川第2師団へ、翌10日には、札幌方面において北海道補
給処、北部方面後方支援隊、北部方面総監部、北海道防衛局に年始のあいさつと上富
良野駐屯地の現状規模堅持の要請を行なっていました。

防衛施設周辺整備事業関係では、全国防衛施設周辺整備協会の理事として2月18
日に役員会に出席するとともに防衛省の幹部の方々に表敬のあいさつと当町の演習場
周辺整備事業に関する要望を行ってまいりました。

（保健福祉課行政報告）

次に、「食育」についてであります。今では誰もが耳にするようになり、関心が高
まっています。特に子ども達に対しては、生涯にわたって健全な心と身体を培い、豊

かな人間性を育む基礎となることから「食育」を推進することは重要と考えております。

この度、本町における「食育推進計画」を策定し、食育の推進に関する基本的な考え方を示しましたので、この計画に基づき平成20年度から24年度までの5ヶ年間、町民一人ひとりが食を通して、心身の健康と豊かな人間性を育てていくよう関係機関団体と連携し、「食育」を推進してまいりたいと考えております。

次に、高齢者等の冬の生活支援事業についてであります。12月末から1月にかけて防災無線や町広報で町民に広く制度を周知するとともに、民生児童委員の方々に、対象となる方への働きかけなどについて協力をいただき、これまで手を尽くしてまいりました。その結果、予想以上に基準額を超える収入のある方々が多い実態でありましたことから当初の見込みを大幅に下回り、支給件数は現時点で164世帯であります。今後も確認作業を進め、対象者の完全把握に努力してまいりたいと考えております。

(町民生活課行政報告)

次に、12月定例町議会報告以降の町税等の収納対策状況についてであります。本年度12月から2月末までにおいて、預金調査273件、給料支払調査1件、生命保険調査25件の財産調査を実施し、給料、銀行預金など47件の差押えを執行し、194万2千円を換価収納するとともに、税務班職員全員による滞納プロジェクトによる臨戸訪問徴収を実施し、町税102万3千円を徴収いたしました。

また、昨年4月から導入いたしましたコンビニ収納の利用状況につきましては、2月末現在の利用件数4千266件、収納額8千460万7千円と当初の予想を上回る利用状況となっており、納税者の利便性が向上されたものと考えております。

次に、例年実施しております平成19年度所得税確定申告の受付については、2月18日から3月17日の期間で受付事務を実施しており、大幅な税制改正などにより町民が混乱を来たさないよう所得税の申告と同様に相談・受付の対応を図っているところです。

（建設水道課行政報告）

次に、除排雪の状況についてであります。北海道においては地域によって平年を上回る降雪量となっておりますが、幸いにも富良野周辺地域においては、現時点で平年並の降雪にあり、道路網の確保も順調な状況にあります。

このような中で、地域単位による自発的な排雪作業に対し町が重機による積み込み作業の協力を本年は2月5日に実施しており、限られた地域ではありますが4年目を迎え地域との連携作業が定着してきているところであります。今後も同様のケースについては、住民との協働に努めてまいります。

（産業振興課行政報告）

次に、観光関係では、2月3日、「第44回 かみふらの雪まつり」を日の出公園を会場に開催しております。

会場には、上富良野駐屯地第2戦車連隊制作による滑り台付き大雪像1基と小雪像8基、商工会青年部による滑り台、建設業協会による雪を積み上げた迷路があり、約2千人の人々に冬の一日を屋外で楽しく過ごしていただきました。

イベントではスノーモービル体験搭乗、スノーラフティング体験、ちびっこ宝さがし、タイヤチューブスピードバトル等が行なわれ、最後の大会では来場者全員に

参加をいただき、楽しんでいただけたものと思っております。

今年度も「新しい冬の富良野・美瑛観光を考える実行委員会」との共同開催で「ふらの・びえい人になるキャンペーン」のイベントも行なわれ、「ふらの・びえい人ナンバーワンクイズ大会」、リトルエンジェルのコンサート、そして、地場産食材による味覚コーナーが設けられた中での開催で、終日、多くの人で賑わい、事故もなく盛況のうちに終えることができました。

また、同日見晴台公園におきまして、今年で2回目となる、幻想的な雪のランドアートを照らす、ウィンターサーカス2008が行われ、雪まつりのプログラムと連携した結果、多くの方の来場をいただいたところであります。

雪像制作期間中、ご支援をいただきました陸上自衛隊、商工会青年部、建設業協会、女性連絡協議会、自衛隊協力会女性部を始め 各関係機関の皆様に深く感謝を申し上げます。

次に、富良野・美瑛広域観光推進協議会の関係ではありますが、今年度より同協議会が進めている中国上海招聘事業の一つでもあります「地域振興セミナー」を、2月8日、本町の保健福祉総合センター かみんで開催し、町内外から100名を超す観光関係者の参加をいただいたところであります。

セミナーでは、国土交通省北海道運輸局の担当者の講演に続き、当町と親交があり、現在、中国上海在住の上海市進才高等学校附属国際部 中学校部・高校部の校長であります ^{オウ シンヨ}王思椒先生により「中国人の訪日旅行を見据えて」と題して映像を交えた講演が行なわれ、セミナー参加者には、今後、増加が見込まれる中国人の訪日旅行者への「接遇・おもてなし」の参考になったものと考えるところであります。

また、^{オウ}王先生には、これを機に上海在住「かみふらの観光大使」をお願いし、快諾をいただきましたので、今後においては、本町が富良野・美瑛広域観光推進協議会に

おける中国上海招聘事業の主導的な役割を担おうと考えているところであります。

（町立病院行政報告）

次に町立病院の運営関係についてであります。本年1月に開設した循環器科につきましては、予約診療により、1回に10名ほどの患者さんが診療を受けているところであります。今後も地域センター病院である富良野協会病院との連携を強化し、町民の方々の利便性向上に努めてまいります。

（教育振興課行政報告）

次に、成人式についてであります。1月13日、保健福祉総合センター かみんにおいて、町議会議員をはじめ、多くの来賓各位のご臨席をいただき、挙行いたしました。

新成人79名の出席のもと厳粛な中で式典が行われ、成人としての門出を祝福したところであります。

次に上富良野高等学校についてであります。昨年、北海道教育委員会が公表した「高校教育に関する指針」に対して、将来とも上富良野高校を存続していくために、要望運動や署名活動を展開してきたところであります。しかしながら本年4月入学の志願状況は、昨年に引き続き少数で、大変厳しい状況となっております。

町としては、今後においても、上富良野高校が、地域に根ざした特色ある高校として存続できるよう町民の理解と協力をいただきながら努力してまいります。

(総務課行政報告【企画財政班関係】)

最後に建設工事の発注状況についてであります。12月定例町議会の報告以降に入札執行した建設工事は、2月15日現在で、件数で2件、事業費総額で8百29万5千円となっており、本年度累計では、34件、事業費総額5億1千175万9千5百円となっております。

本年度の詳細については、お手元に「平成19年度建設工事総括表」を配付しておりますので、後ほどご高覧いただきたく存じます。